

工事契約に係る市内中小企業の受注状況

公共投資事業は、教育・福祉施設や道路等の都市基盤の充実、公共施設の耐震化などによる安心・安全の実現等に資するという目的だけでなく、地域に根差した企業の健全な発展を促し、京都経済の活性化に寄与するものです。

このため、本市では、市内中小企業の受注機会を拡大し、その受注割合を高めるための取組を積極的に進めています。

こうした公共投資事業の重要性に鑑み、競争入札をした工事等の契約における市内中小企業の受注状況を、四半期ごとに公表される「市内中小企業の景況について」と参照可能な形で公表します。

(単位：件、百万円)

期間	件数			金額		
	全体 (A)	市内中 小企業 (B)	契約件数 比率 (B/A)	全体 (C)	市内中 小企業 (D)	契約金額 比率 (D/C)
第1四半期 (平成31年4月～令和元年6月)	298	272	91.28%	8,603	8,163	94.89%
第2四半期 (令和元年7月～9月)	576	500	86.81%	15,504	11,118	71.71%
第3四半期 (令和元年10月～12月)	604	543	89.90%	19,912	15,939	80.05%
第4四半期 (令和2年1月～3月)	232	186	80.17%	17,893	11,240	62.82%
合計 (平成31年4月～令和2年3月)	1,710	1,501	87.78%	61,912	46,460	75.04%

注1 数値は、競争入札により期間内に締結した京都市全体の工事契約の合計

2 工事契約とは、工事請負契約及び測量、設計等の委託契約をいう。

3 金額は、契約額の合計であり、令和2年度以降に継続する工事等にあつては、令和2年度以降の支払予定額も含む。

4 第3四半期に契約したPFI事業(18,172百万円)は計上していない。